

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第 29 号

新指定・登録文化財の紹介

さいたま市教育委員会は、平成20年3月5日付けで新たに1件の文化財を市指定有形文化財に指定しました。また、平成19年12月5日には、1件の建造物が国登録有形文化財に登録され、平成20年3月14日付けで埼玉県教育委員会が、1件を県指定有形文化財に指定したことにより、市内に所在する市指定文化財は441件、国・県指定を含めた総件数は524件となり、この他に、国登録有形文化財は6件となりました。(平成20年4月1日現在)



▲阿形像



▲吽形像

廓信寺木造金剛力士立像



▲阿形像内背面墨書銘

新指定・登録文化財一覧

種別	名称・員数	所有者	所在地
市・有形文化財（彫刻）	廓信寺木造金剛力士立像 2 躯	宗教法人廓信寺	浦和区北浦和 3 丁目15番22号
県・有形文化財（絵画）	紙本着色 鯉亀図 葛飾北斎筆 1 幅	埼玉県（県立歴史と民俗の博物館管理）	大宮区高鼻町 4 丁目219番地
国・登録有形文化財（建造物）	東玉大正館（旧中井銀行岩槻支店） 1 棟	個人	岩槻区本町 3 丁目

市指定有形文化財（彫刻） **廓信寺木造金剛力士立像**

廓信寺の仁王門に納められている金剛力士像、いわゆる仁王像で、阿形像と吽形像の2体からなります。廓信寺は、当時の浦和郷を支配していた代官の中村弥右衛門吉照が、旧主である高力清長（岩槻城主）の追福のために開基した浄土宗の寺です。

平成18年に仁王像を解体修理した結果、伝来通り、弥右衛門が奉納したことが判明しました。像内の墨書銘から、江戸時代初期の元和2年（1616）に、弥右衛門が安房国（千葉県）の仏師に命じて造らせたことが確認できます。保存状態もよく、造形的に優れており、当時の浦和の歴史的背景が窺える資料です。

＊金剛力士像＊

金剛杵を執って、本来、釈迦の傍らにいて護衛の役を担っている。一般には、口を開いた阿形像と、口を結んだ吽形像の2体を一対として寺院山門に安置する。密教では「阿」を万物の根源、「吽」を一切が帰着する智徳（真理を正しく知るはたらき）とする。

県指定有形文化財（絵画） **紙本着色 鯉亀図 葛飾北斎筆**

葛飾北斎が江戸時代後期の文化10年（1813）に制作した肉筆画で、円熟期を迎えた54歳の作品です。

横長の画面に、水中を泳ぐ鯉2匹と亀2匹が立体的に生き生きと描かれ、鯉の顔の描写は独特のものとなっています。帯状の線で右から左にゆるやかに流れる水をあらわし、藍の濃淡で繊細に描かれた水藻は画面に奥行きを出しています。左隅の墨書に文化10年、それまで愛用してきた「亀毛蛇足」の印を弟子に譲る旨が記され、北斎の制作年代がわかる基準作例となっています。

＊葛飾北斎（1760年～1849年）＊

江戸時代後期の浮世絵師。江戸本所に生まれる。洋画を含むさまざまな画法を学び、優れた描写力と大胆な構図を特色とする独特の様式を確立した。版画、肉筆画、絵手本、挿絵など幅広く手掛け、画風と共にしばしばその号も変えた。



▲鯉亀図

（県立歴史と民俗の博物館 写真提供）

国登録有形文化財（建造物） 東玉大正館（旧中井銀行岩槻支店）

岩槻駅から徒歩5分の久保宿通り沿いに面しています。大正時代後期到中井銀行として建設され、現在は人形店のギャラリーとして利用されています。

建物は、煉瓦造り2階建ての洋館建築で、1階の背面には金庫室が突出し、主屋の屋根は寄棟の瓦葺で、内部はトラス構造の小屋組みとなっています。建物正面は、壁面を三分割して中央に入口、左右に窓を対称に配置しています。また、壁面は腰壁を石貼りとし、その上を煉瓦タイルとモルタルで仕上げています。

大正時代における地方銀行の建築様式を現在に伝える建物として貴重なものです。

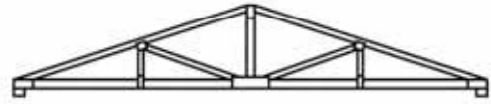


▲東玉大正館

トラス構造

構成される三角形を単位とした構造骨組の一種で、各部材の端部節点がすべてピン接合となっているものをいう。木造の軸組なども筋交いを設けることにより、トラス構造となる。

荷重がかかっても変型しにくい構造で、ドームなどの大空間や橋の架橋に用いられている。



※これらの新しく指定・登録された文化財は、他の文化財同様、常時公開されているわけではありません。マナーを守り、文化財の所有者や管理者、近所の方々、他の見学者や参拝者の迷惑とならないよう、お願いします。

◎市指定文化財の解除

天然記念物「普門院のイヌツゲ」と、「氷川参道の並木」のうちコブシ（W-102）は、枯死のため、平成19年11月28日に指定を解除しました。

TOPICS

●市文化財保護審議会委員の田澤年美氏、吉本富男氏が表彰されました。

5月27日に吉見町町民会館において、埼玉県文化財保護協会評議員会・研修会が開かれました。平成20年度の県文化財功労者として、田澤年美氏と吉本富男氏が表彰されました。両氏とも旧市時代から現在まで市文化財保護審議会委員を長く務められ、文化財保護活動進展への功績が評されました。



▲中央が田澤氏（吉本氏は欠席）

●「深作ささら獅子舞」が芝浦工大の学園祭に出演しました。

市指定無形民俗文化財の「深作ささら獅子舞」が、5月24日、芝浦工業大学の学園祭「大宮祭」に出演しました。芝浦工大の大宮キャンパスが見沼区深作にあるという縁から公開が実現し、学生たちが地元の郷土芸能に触れる良い機会となりました。



▲後庭を披露

お知らせ

市内各所で開催されるお祭りに、指定文化財も参加します。また、当課主催の行事も予定していますので、ぜひお出かけください。なお、天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市のWebページをご覧ください。か、当課までお問合せください。

期 日	名 称	時 間	会場又は出発地	内 容 等
7月12日(出)	秋葉ささら獅子舞	10時～	中 釘 自 治 会 館 (西区中釘)	中釘自治会館を出発し、秋葉神社、三尺坊で獅子舞を披露
	宿の祭ばやし	13時～	大 久 保 神 社 (桜区宿)	大久保神社を出発し、桜区宿地区内を巡行
	神田の祭りばやし	14時～	八 雲 神 社 (桜区神田)	八雲神社を出発し、桜区神田地区内を巡行
	田島の獅子舞	17時～	田 島 氷 川 社 (桜区田島)	田島の夏祭りの宵宮で、3頭の獅子舞を披露
7月13日(日)	駒形の祭ばやし	12時～	須 賀 神 社 (緑区中尾)	須賀神社を出発し、緑区中尾字駒形地区内を巡行
7月19日(出)	砂の万灯	16時～	八 雲 神 社 (見沼区東大宮)	7基の万灯が勢揃い (午後から順次組み立て、祭礼は16時から)
7月20日(日)	浦和まつり	14時～	中 山 道 浦 和 宿 (浦和区仲町他)	「木遣歌」、祭ばやし(宿・神田・駒形)、「仲町獅子王祭獅子頭」「浦和仲町の神酒榨」など
7月31日(休)	氷川女體神社の名越祓え	15時～	氷 川 女 體 神 社 (緑区宮本)	無病息災を祈る「夏越しの大祓え」
8月23日(出)	深作ささら獅子舞	16時～	深 作 氷 川 神 社 (見沼区深作)	春岡小学校ささら獅子舞クラブの子どもたちも練習の成果を披露
	指扇の餅搗き踊り	18時頃～	指 扇 小 学 校 (西区指扇)	「指扇まつり」で、実際に餅を搗く「真鐘搗き」をはじめとした踊りを披露
8月27日(水)	見沼通船堀閘門開閉実演	10時～ 13時～	見沼通船堀東縁閘門 (緑区大間木・下山口新田)	見沼通船堀東縁閘門を使って、東縁用水と芝川の水位差の調節を行う
9月15日(月)	岩槻の古式土俵入り	14時30分～ (予定)	篠 岡 八 幡 大 神 社 (岩槻区笹久保)	笹久保地区で行われる古式土俵入りで、子どもたちが独特の振りで土俵入りする
9月13日(出)～ 28日(日)	最新出土品展	9時～ 16時30分	市 立 博 物 館 (大宮区高鼻町)	昨年、市内各所で発掘した出土品を展示(10月以降、市内施設を巡回、次号で紹介します) 休館日(9/16・22・24)
9月27日(土)	市内遺跡発掘調査成果発表会	13時30分～ 16時	市 立 博 物 館	市内の発掘調査結果をスライド等で紹介

文化財紹介

— 金剛院仁王門の金剛力士像 — 市指定有形文化財(彫刻)(昭和56年指定)

今回新たに指定された廓信寺のほかに、市内にはもう1件の金剛力士像が指定されています。岩槻区末田にある金剛院は、室町時代後期に現在地へ移転したと伝えられ、江戸時代には徳川家康より寺領10石を与えられて新義真言宗の談林所(僧侶の学問所)ともなる格式のある有力寺院でした。

仁王門は改築されていますが、江戸時代中期の元禄10年(1697)に、5代将軍徳川綱吉の生母桂昌院より寄進されたと伝えられています。

門の両側に配された阿吽形の金剛力士像は、江戸時代前期の作と思われ、筋肉の表現や均整のとれた姿態などに、江戸時代仏像彫刻の造形美を見ることが出来ます。



▲吽形像



▲阿形像